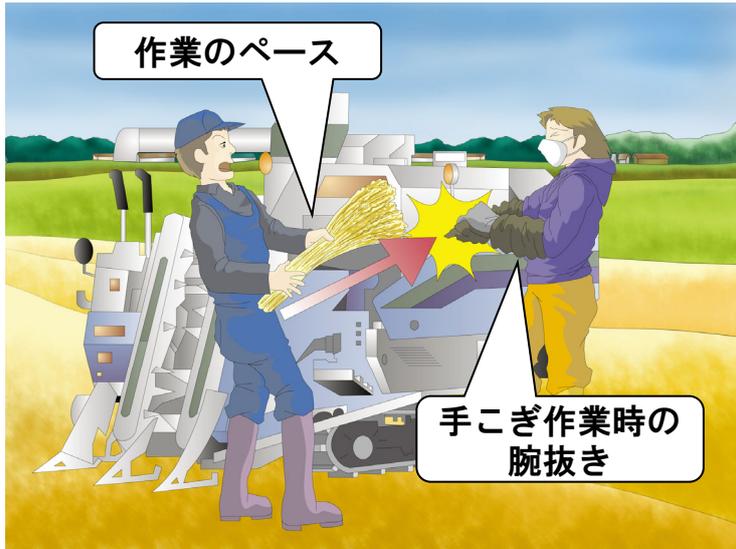


自脱型コンバインの事故事例



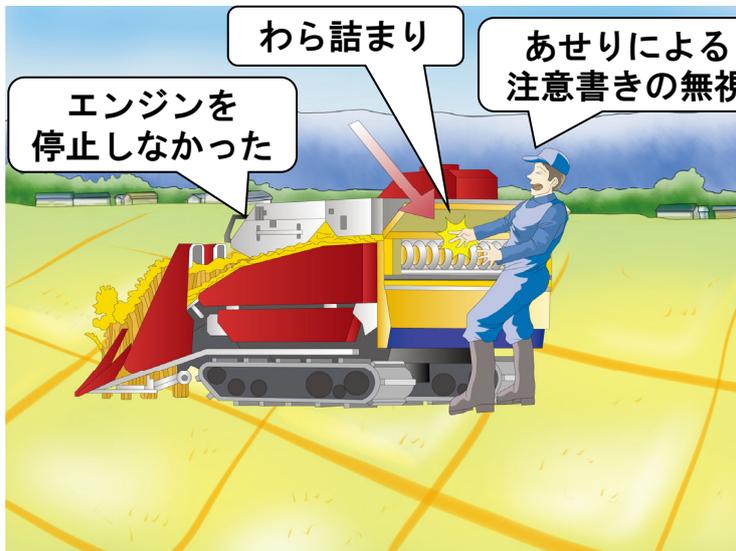
事故概要

4条刈自脱コンバインで手こぎ作業を行っていたところ、フィードチェーンのガイド棒に腕抜きが付きささり、稲束に手を押されて右手首から20cmほど上をフィードチェーンに挟まれて後方へ運ばれた。幸いなことにカッター部の手前で手を抜いたため、切断はまぬがれた。

80日の入院後、1年半の通院と3年間のリハビリ。

原因

- ① 手こぎ時の腕抜きや軍手はフィードチェーンに巻き込まれやすくなる。
- ② 組作業で作業のペースに無理があり、せかされる気分であった。

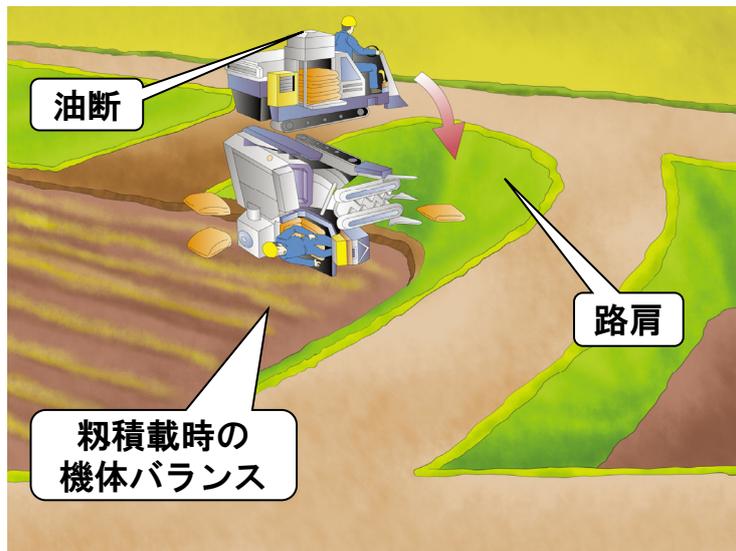


事故概要

コンバインで収穫作業をしていたところ、カッターが詰まったため、エンジンを停止させないまま、詰まったわらを取り除こうとしたらカッターが回り出し、手を巻き込まれ右手親指を切断した。

原因

- ① エンジンを停止しないで、カッター内のわらの詰まりを取り除いた。
- ② カッターに手を入れないよう注意書きがあったが、作業が遅れていたため、あせっており気にならなかった。



事故概要

2条刈コンバインの籾受台に籾を4袋積んでほ場から道路へ出る時、バランスを崩して右側へ90度横転した。コンバインはゆっくり滑ったがブレーキを踏めなかった。横転時には運転席に留まったため、幸いなことに下敷きにはならなかった。

原因

取付道路が右側に傾斜しており、籾の重みでバランスが崩れやすいにも関わらず、油断していた。